



横浜市立大学附属病院 のう胞腎外来のご案内

横浜市立大学 循環器・腎臓・高血圧内科学 田村功一

拝啓

時下、先生におかれましてはますます御健勝のこととお慶び申し上げます。

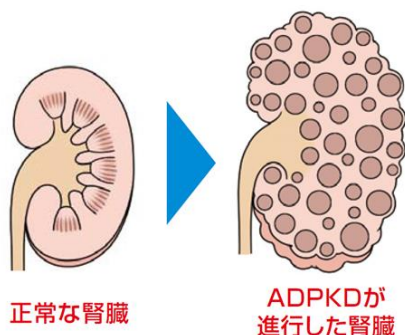
さて、嚢胞性腎疾患の一つである常染色体優性多発性嚢胞腎 (Autosomal Dominant Polycystic Kidney Disease : ADPKD) は遺伝性腎疾患の中でも最も頻度が高く、その半数が 60 歳までに末期腎不全に至り人工透析が必要になることが知られております。また、脳動脈瘤の合併率も高いことから早期に診断することが極めて重要な疾患です。

残念ながらこれまで ADPKD に対して有効な治療薬がありませんでしたが、2014 年 3 月にバソプレシン V2 受容体拮抗薬『トルバプタン 商品名：サムスカ』が国際共同試験を経て、初めて ADPKD への治療薬として認可されました。トルバプタンは ADPKD 患者さんの腎機能低下を抑え、透析導入を遅らせる唯一の治療薬として期待されております。

また 2015 年 1 月より、ADPKD は難病医療費助成制度の対象となったことで、当院においてもトルバプタンによる治療を希望される患者さんが増加しております。

もし貴院を受診されている患者さんで、ADPKD の可能性がある患者さん (下記図) がいらっしゃるいましたら、当科で画像診断等の専門的機材を用いた診断を行い、精査すると共にトルバプタンによる治療の適応を検討致しますので、ぜひ下記先までご紹介いただけますと幸いです。何卒宜しくお願い申し上げます。

<正常な腎臓と ADPKD>



<ADPKD の可能性がある患者さん>

<input type="checkbox"/> ADPKDの家族歴
<input type="checkbox"/> 健康診断や人間ドックで腎・肝のう胞を指摘された方
<input type="checkbox"/> 腹部膨満、腰痛、側腹部痛、肉眼的血尿など
<input type="checkbox"/> 透析・腎移植の家族歴
<input type="checkbox"/> くも膜下出血の家族歴
<input type="checkbox"/> 若年性高血圧

窓口担当医師：腎臓・高血圧内科 のう胞腎外来 涌井広道、田村功一

TEL : 045-787-2800 (代表) mail: hiro1234@yokohama-cu.ac.jp

地域連携課 地域連携担当 TEL : 045-787-2887 (直通)

FAX : 045-787-2866 E-mail: frenkei@yokohama-cu.ac.jp

敬具